

### 令和時代の始まり

生徒諸君は十連休を自分なりに工夫して有意義な生活をしてきたと思います。今年のゴールデンウィークは、皇位継承が行われ、平成時代が終わり、五月一日から新元号の令和時代がスタートしました。この「令和」は日本最古の歌集『万葉集』の「梅花の歌三十二首」の序文から引用されました。

『万葉集』は全二十巻からなり、七世紀から八世紀中頃かけて詠まれた四千五百十六首を大伴家持が編纂したと言われています。

さて、序文は和歌が詠まれた梅見の宴を説明しています。「初春の令月にして、気淑（よ）く風和（やわら）

ぎ、梅は鏡前の粉（こ）を披（ひろ）きく」現代語訳は「新春の好（よ）き月、空気は美しく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前に装う白粉のごとく白く咲き」。叙景の詩句の清新さの中に「令（よ）い社会、和（なご）やかな時代」の到来を期待するメッセージが込められています。

安倍首相は、記者会見の中で『万葉集』を「国書」と述べていました。「国書」とは古典籍のうち日本人の著作した書物です。似た言葉の「和書」は仏典や漢籍を含めた日本で制作された書物を指します。

令和の出典『万葉集』は上代の庶民から天皇までの喜怒哀楽と飾らない荒削りな真情がぎっしりつまった日本人必読の歌集です。

### ○五月の言葉

仕合わせは準備された人の心に訪れる。

### ○言葉力チェック

- ①「在所」の正しい用法はどれか。  
A 江戸時代、刑務所を在所といった。  
B 私の今の在所は、静岡市内です。
  - ②「三枚目」の正しい用法はどれか。  
A 三枚目は美男子が多い。  
B 常に人を笑わせるのは三枚目だ。
  - ③次のABCの（ ）に後の語群から適当な語を選べ。  
A あれこれ思案を（ ）。  
B ほとほと思案に（ ）。
  - C この問題は思案に（ ）。
- A 余る イめぐらす ウ暮れる
- ④文中の（ ）ABに思惟、恣意のどちらかを入れよ。  
人生について深く（A）する。  
問題を（B）的に判断してはならぬ。
  - ⑤「自我」の同義語は次のどれか。  
A 自己 B 利己 C 没我
- （解答）①B②B③AIBウCA  
④A 思惟 B 恣意⑤A